

開 Open your mind, 成 Be part of the world!



市立札幌開成中等教育学校 IB研究部 国際交流チーム Newsletter

ホームステイ受入家庭登録ありがとうございます！

2018

April 25, 2018

4・5月の予定

北海道高校生
平和大使派遣
(5/20に作文・面接に
よる選考)

〆切
4/30
各自

ISA・AFS留学説明会
(5/12土11:00~13:00)
@開成中等教育学校
全年対象
別紙申込用紙参照

校内
〆切
5/7

その他、ベネッセ、
WYF、YFU、EF、アユ
サ、EIL、JFIEなど様々
な留学機関を通した
留学・交換留学あり！

国際交流
コーナー
随時ポス
ター掲示

「北海道高校生平和大使」は6/16
広島での結団式から任期1年。8月
に長崎、スイス・ジュネーブ国連本
部訪問、ベルリンでの活動など。
ホームページから応募用紙をダウ
ンロードし各自で申込。応募の際は
国際交流チームにもご報告を！

前回の newsletter でお願いしましたホームステイ受入家庭登録ですが、50を超えるご家庭にご登録いただきました！ありがとうございます。さっそく6月に来日する、本校姉妹校のベトナム・チャンダイニア特別校「日本クラブ」の生徒(日本語が上手な人が多いです！)と、札幌市の姉妹都市・アメリカ・ポートランド市グラント高校の「日本語クラス」の生徒(こちらも日本語が上手な生徒が多いです！)のホームステイ受入調整を開始いたします。受入れをお願いする際には、再度お子様を通じて、英語と日本語で「受入家庭調査票」を記入していただくことになります。どうぞよろしくお願いいたします。ご登録いただいたにもかかわらず、マッチングの関係で受入れをお願いできないこともあることをご了承ください。

これ以降も、受入家庭を募集しています！

留学生の男女比・年齢・動物等のアレルギーの有無や、ご家庭の受入可能時期などの条件により、現在ご登録いただいたご家庭に受入れをお願いできない可能性もあります。まだ登録されていないご家庭の皆さま、できる範囲でよいので、ぜひ受入家庭登録にご協力ください。「受入承諾書」は、随時、国際交流チームへ！

英語はできなくても、ジェスチャー
と簡単な単語でも気持ちは伝わる
ので全然大丈夫でした。😊

昨年留学生を
受け入れた
ご家庭からの声

初めての受入でとても緊張
しましたが、日本の好きな留
学生で楽しい時間を過ごす
ことができました。娘の英語
の勉強に対するモチベー
ションも少しは上がったので
はないかと思います。😊

短い日程でおもてなしをしたいと
考えると、国や留学生の事を少し
リサーチするとよいと思います😊



★ 海外へ勉強しに行く場合の手続き 「留学届」提出について

海外への研修・留学には、大きく分けて2つの方法があります。

【1. 本校や市立校長会などが企画しているもの】

昨年度は、5年次では160名全員がマレーシア・シンガポールかオーストラリアへ。本校企画3月のアメリカ研修に43人。SSHやSGHの研修でタイ・ベトナム・ドイツなどへ約30名。札幌市・ポートランド市高校生交流事業で本校から2名アメリカへ派遣されました。

【2. 様々な機関(公募)を通した派遣・自費による留学】

トビタテ！留学JAPANに選ばれメキシコ・マレーシア・ニュージーランドに3名、作文や面接を通してラオス派遣1名。その他、短期・長期でアメリカ・カナダ・ラトビア・ニュージーランド・イギリス・コスタリカ・フィリピンなど、様々な国へ留学しています(ラトビア・コスタリカ・アメリカ・ニュージーランド等に滞在中生徒もいます)

2.の方法で海外研修・留学をする際には「留学届」(国際交流チーム・担任の先生から用紙を受け取ります)を提出する必要があります。特に学校期間中の欠席を必要とする場合には校内の「留学委員会」で公認欠席に相当するかの可否が検討されます。長期休業中などに私費で留学する際も国際交流チームへ「留学届」を提出してください。



「札幌市立高校生・ポートランド市グラント高校生交流事業」参加者の声

札幌市では3月に市立高校8校から各2名ずつ、姉妹都市ポートランドへ生徒を派遣しています。本校からは6年MSさん（生徒代表も務めました）と5年ASさんが派遣されました。ASさんからの報告です。



私は3月12日から3月21日の10日間、札幌市ポートランド派遣団の一員として、アメリカのポートランドに行ってきました。ポートランド派遣団は、札幌市立高校8校の代表生徒16人で構成されています。ポートランドに行く約半年前から、派遣団のメンバーと一緒にポートランドについての事前学習や、日本文化紹介のプレゼンの準備、現地調査の準備などを行いました。ポートランドでは、ホームステイ、現地高校生との交流、ボランティア活動などいろいろなことを体験しました。ポートランドでは、私たちが住む札幌といろいろなことが違いました。何もかもが新鮮で、たくさんものに衝撃を受けました。例えば、授業中のクラスの様子一つとっても、札幌とポートランドでは全く違います。お菓子を食べながら、スマートフォンを使いながら、自由に授業を受けている姿を見てとても驚きましたが、授業中に寝ている人はおらず、生徒が積極的に授業に参加し、生徒を主体とした授業展開がされていると感じました。私たちの学校でも、ポートランドの学校のようにグループディスカッションがありますが、これからはそこで、積極的に自分から発言をしていきたいと思います。今回の研修を通して、ポートランドと札幌の姉妹都市としての関係について知れたことはもちろん、フレンドリーで暖かい、ポートランドのいいところをたくさん知ることができ、ポートランドという街が大好きになりました。また、まじめで、几帳面な日本の良さについても再確認できました。ポートランドで過ごした10日間は、自分を変える大きなきっかけになったと思います。未知のことにも挑戦しようと思うようになりました。ポートランドでは、普段できないような貴重なことをたくさん体験することができます。そして、大きく成長することができます！ポートランド派遣団に皆さんも是非！参加して欲しいです！（原文ママ）



「全米一住みたい街」
に選ばれた **Portland**



澁田さんたちは市立高校の仲間と、自分たちで研修課題を設定し、市の代表として交流を深めてきました。4月22日の帰国報告会では、高校生の政治に対する意識、部活動、職業観、ボディランゲージなど様々な視点からの報告がありました。

6月中旬から2週間、ポートランドの生徒が、開成生徒宅にホームステイをしながら開成にやってきます。授業や放課後活動、その他の場面でたくさん交流をしてくださいね。

また、来年3月の札幌市からポートランドへの派遣生募集は7月頃の予定です。募集対象は5年生です。

●4月24日校内で切だった「中学生交流プログラム インドネシアへの派遣事業」に19名が応募！作文を元に校内から5名の推薦者を決定します。選考結果は連休明けに報告します。

●「姉妹都市少年交流事業ロシア連邦ノボシビルスク市派遣（新中2～高1対象）」に応募していた2年3年生徒が派遣生として選ばれました。夏休みに10泊11日でノボシビルスクへ派遣、ホームステイをしながら研修を行います。2020年にはロシアからの生徒をホームステイで受け入れるプログラムです。

